



# 龜中だより

No.44

令和5年3月7日 文責:岡田



For The Students !

3月7日、第76回亀山市立亀山中学校卒業証書授与式を無事に挙行することができました。三年という月日のなせるわざか、それとも中学生という年代だからこそ、できることなのか、3年生182名の見せた晴れ姿は、その場に居合わせたすべての人に感動を与えるものでした。



卒業生のみなさんも覚えていることでしょう。希望を胸に入学したにもかかわらず、わずか一週間余りで臨時休業となった3年前、中学校生活のすべては、行き先の見えない、つかみどころのないものへとなっていました。おそらくその頃は、まさかこんなに長い病気との闘いになることなど誰も想像できなかったでしょう。振り返れば、最初の2年間は手探り状態、すべては感染対策という言葉のもとに奪われることが続きました。私たち教職員にとっても、人と人との分かつことを求める教育活動など経験したこと�이ありませんでした。

最終学年となった今年、みんなの工夫と努力で、いくつかの学校行事を以前のような形で開催できるよう取り戻してくれました。つらい思い出だけの中学校生活ではなく、その中から立ち上がることを経験してくれました。卒業生のみなさんからいただいたこの月日は、とてもなく大きなプレゼントです。

式中の「わかれの言葉」の中で、生徒代表として語ってくれた4人の卒業生のみなさんの思いのあふれたメッセージに誰もが、熱くこみ上げるものをおさえることができませんでした。そして久しぶりに聞くことができた心のこもった合唱も…。182名のみなさんそれぞれにドラマがあった中学校生活…。でも、あなたたちのストーリーはまだ始まったばかりです。みなさんがこれからそれぞれの道でご活躍されることをお祈りいたします。

卒業おめでとう。

